

2018年10月24日

地元消防局と連携してさらなる「鉄道輸送の安全」に取り組めます！

11月5日(月) 南栗橋車両管区において 「異常時総合訓練」を実施します

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2018年11月5日（月）に、南栗橋車両管区（埼玉県久喜市、最寄駅：日光線 南栗橋駅）において、「異常時総合訓練」を実施します。

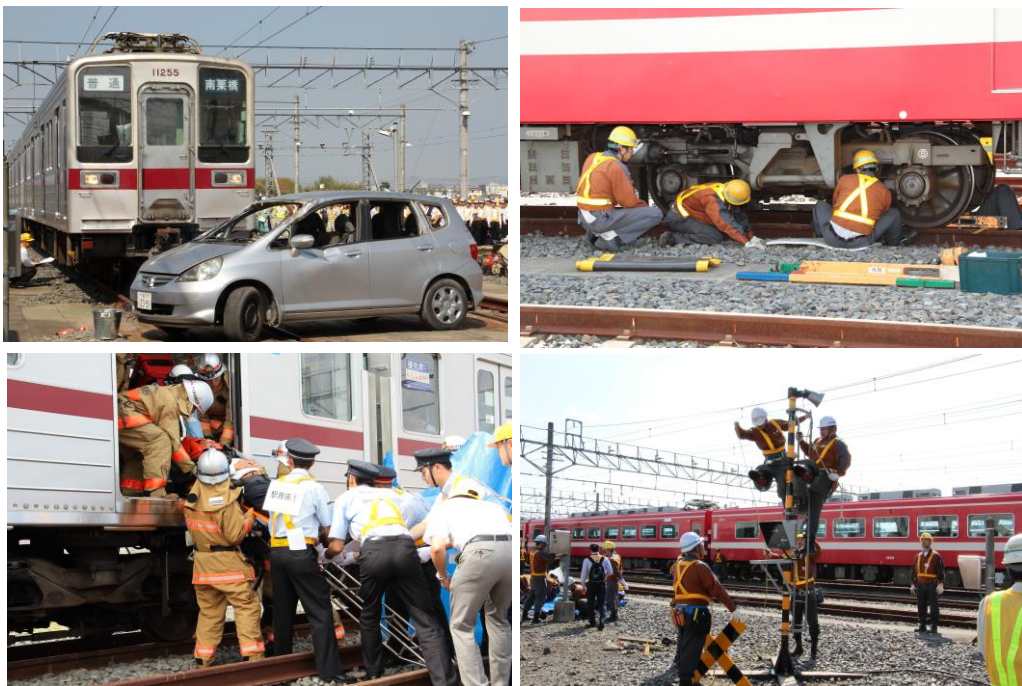
この訓練は、踏切事故やテロなどによる重大事故が発生した場合の併発事故防止や、負傷者の救出・救護、お客さまの避難誘導、事故復旧体制の確立といった異常時における知識・技能の向上を目的に、1965年から毎年実施しているものです。

当日は、列車が踏切において乗用車と接触して脱線、乗客に負傷者が発生したことを想定し、当社の各現業職場、東武グループ関係各社および協力会社を中心に約150名が参加するほか、地元の埼玉東部消防組合消防局とも連携して実施します。

当社では、今後も万一の不測の事態に備えるため、異常時に速やかにお客さまの安全確保、救出・救護が行えるように、また、早期に復旧対応を行えるように定期的に訓練を実施することで、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



△昨年に実施した異常時総合訓練（南栗橋車両管区にて）

「異常時総合訓練」の概要

- 1 日 時 2018年11月5日(月) 10:30～13:00
※雨天決行
- 2 場 所 南栗橋車両管区(車両工場敷地内)
住所:埼玉県久喜市北広島1323-3
※日光線 南栗橋駅より徒歩約20分
- 3 参加人員 約150名
※このほか埼玉東部消防組合消防局にもご参加いただき、合同で訓練を行います。
- 4 訓練内容
(1) 踏切障害事故(列車脱線)発生時の処置訓練(併発事故防止)
(2) 消防と合同による負傷者の救護および避難誘導訓練
(3) 対策本部の指揮による事故復旧訓練
(4) 消防の協力を得て行うAEDを用いた心肺蘇生法訓練

<上記訓練における事故想定>

東武アーバンパークライン 七光台～清水公園間の踏切道で踏切道内に進入した乗用車と、柏発大宮行きの列車が衝撃。

これにより乗用車は大破。運転手が車内に閉じ込められ、救出が困難となるほか、列車内の乗客にも複数名の負傷者が発生。

また、この事故により同列車が脱線し、線路・架線・通信線・踏切保安装置等が損傷し、同線の上下線で不通となる。

以 上